

2025年度

二チイキッズ長岡天神保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	自然の事象や交通標識等を見て「なぜ？」「どうして？」の疑問を子ども達に投げかける保育を試みた。遊びも学びもおもいっきり「想像する」子どもの姿がみられた。
子どもの発達援助	異年齢保育を行う事で興味関心を年齢に縛られることなく子どもの気持ちを尊重した保育の提供を実施できた。
保護者に対する支援	子どもの姿を「家庭」と「保育園」が共有することで一緒に子どもを育てていく、という思いで関わることができた。また、フェスティバルでは地域の体育館を借りたことで人数制限をかけることなく家族全員の参加ができるように設定し保護者の負担軽減へとつなげることができた。
保育を支える組織的基盤	長岡京市子育て支援課・健康推進課との連携により、地域に密着した行事や研修に参加し、保育内容の充実や保育者のスキルアップへと繋がった。

総評
保護者・保育者・栄養士が連携し、「子どもを真ん中にした」人的環境を整えることができた。ありのままの自分を表現し、大人に受け止めてもらう事で愛着関係の土台を築き、「自己肯定感」を高めることができた。また、選択肢を提供することで子ども自身が選び取る「自己決定」へと導くことができた。また、手伝って欲しい時には「手伝って下さい」と言える環境を意識したことで「大人に頼る」事は子どもの成長の中で大切な関わりであり、一緒にできた喜びや自信が「信頼関係の芽生え」に繋がった。また、保護者と登降園での関わりを丁寧に言い居心地の良さを感じて頂けたことや、保育参観等で日常の子ども達の様子をありのまま見て頂いたことで安心感や子どもの居場所を感じて頂ける機会となった。